

薬剤師確保対策について

薬剤師確保検討の経緯

- 薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ（令和3年6月30日）
 - ・ 薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保は喫緊の課題であると指摘
- 第8次医療医療計画への反映（令和5年6月）
 - ・ 国の通知、「医療計画作成指針」において、地域の実情に応じた薬剤師の確保策の実施等について、可能な限り具体的に記載するよう新たに記載
- 薬剤師確保計画ガイドラインの策定（令和5年6月）
 - ・ 薬剤師確保計画の考え方や構造を示し、ガイドラインで示す対策を参考に、地域の実情に応じた実効性のある計画の策定について、都道府県に通知
 - ・ 薬剤師偏在指標により、地域・業態偏在を明確化

薬剤師偏在指標とは

- 全国的に統一的な尺度を用いて各地域の薬剤師の偏在状況を相対的に示す指標
- 薬剤師の必要業務時間（需要）に対する実際の労働時間（供給）の比率
 - ・薬剤師労働時間＝勤務形態（常勤・非常勤）、性別、年齢階級、業務の種別（病院・薬局）により異なる
 - ・薬剤師推計業務量＝地域別の性・年齢階級別等を踏まえた医療需要により異なる

$$\text{薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間}}{\text{薬剤師推計業務量}}$$

薬剤師数が増えれば分子が増え、業務量が増えれば分母が増える

山梨県における薬剤師偏在指標

- ・地域（都道府県・二次医療圏）において、病院薬剤師・薬局薬剤師別に算出（令和4年厚生労働省調査）
- ・目標偏在指標を「1.0」（調整薬剤師労働時間＝薬剤師推計業務量）
- ・目標偏在指標より偏在指標が高い区域を「薬剤師多数区域」（「多」と記載）
- ・目標偏在指標より低い区域のうち、下位2分の1を「薬剤師少数区域」（「少」と記載）
- ・山梨県全体では病院薬剤師が少なく、二次医療圏別では、峡東、峡南の病院薬剤師、峡南の薬局薬剤師が少ない

	合計	区域	病院	区域	薬局	区域
全国	0.99		0.80		1.08	
山梨県	0.92		0.71	少	1.01	多
中北	1.02		0.74		1.16	多
峡東	0.87		0.70	少	0.96	
峡南	0.57		0.63	少	0.55	少
富士・東部	0.78		0.76		0.76	

本県の薬剤師確保計画

■「第8次山梨県地域保健医療計画」に含む (令和6年3月策定)

- 薬剤師の偏在状況等の現状・課題
- 薬剤師の確保に関する施策の方向性
 - ・県薬剤師会等の関係団体の協力を得て、**薬剤師の確保策を検討する枠組み**を設置（山梨県薬事審議会）
 - ・特に、病院薬剤師の確保策の検討・実施は県病院薬剤師会と連携を図る
- 偏在指標の数値目標を設定

	現状	令和11年度
薬剤師偏在指標	病院薬剤師：0.71	病院薬剤師：1.00
	薬局薬剤師：1.01	薬局薬剤師：1.00

本県の薬剤師確保計画

■薬剤師確保計画ガイドラインの考え方

- 必要に応じて薬剤師の就労状況の把握のための調査等を実施
- 二次医療圏ごとに病院・薬局における薬剤師確保の方針を決定
- 具体的な目標薬剤師数を設定
- 目標薬剤師数を達成するために必要な施策について、具体的に盛り込む

現状の医療計画では薬剤師確保計画として、記載不十分のため、今後、

- ・ガイドラインの考え方に沿って、必要な調査を実施
- ・得られた結果を踏まえ、本県における課題を整理し、具体的な施策を検討（薬事審議会で議論）

→第8次山梨県地域保健医療計画の改訂の必要性

今後の取組の方向性

■令和6年度までの取組

- 東京薬科大学との包括連携協定の締結（令和6年3月）
 - ①薬剤師確保、②薬剤師の生涯学習、③理系人材の育成、④薬学・生命化学領域における調査・研究、⑤産業振興、⑥災害時における支援等について連携
 - 薬剤師確保については、山梨県地域枠（3名）の設置、中高生を対象とした模擬講義・体験実習・相談会の開催

■令和7年度

- 薬剤師の就労状況等に関する調査
- 病院薬剤業務向上加算に向けたアンケート調査
- 効果的な薬剤師確保策の検討
- 薬事審議会に議題提案

■令和8年度～

- 薬剤師確保策の実施

薬剤師確保のための施策例

■薬剤師確保計画ガイドラインで示された施策例

- ① 地域医療介護総合確保基金の活用
奨学金の貸与、医療機関への薬剤師派遣、復職支援など
- ② 薬剤師の採用にかかるウェブサイト、就職説明会等を通じた情報提供の支援
病院や薬局の魅力アピールや採用情報についての情報提供
- ③ 地域出身薬剤師や地域で修学する薬剤師へのアプローチ
児童生徒を対象とした講座、病院・薬局見学会、職場体験など
- ④ キャリアプランの実現・やりがいを感じられる業務実現のための支援
セミナーの企画開催、説明資材の作成
- ⑤ 給与制度の見直しに向けた支援
- ⑥ 病院や薬局における働き方の見直しの支援
- ⑦ 潜在薬剤師の復帰支援
- ⑧ 病院・薬局における業務効率化の支援
- ⑨ 薬学部における地域枠の設定

実態調査・アンケート調査の内容（案）

■調査対象・項目

◆各病院への調査

- 充足状況、採用・離職状況など就労状況の調査により、現状を把握し、課題を抽出
- 業務内容、病棟薬剤業務実施加算、薬剤業務向上加算の算定状況の調査により、薬剤師出向・派遣等の可能性について検討

◆東京薬科大学学生への調査

- 病院薬剤師の就職希望の状況、就職先に求めるもの等について調査し、課題を抽出

◆関係団体等への調査

- 地域別薬剤師確保策に対する意見聴取
- 薬局薬剤師確保に対する必要性